



データでみる福島再生

最近の動き

○ 除染等工事の進捗状況

- ・ 特定帰還居住区域では、大熊町、双葉町、浪江町、富岡町、南相馬市において除染・解体を実施しています。2026年5月末時点で、約709haの除染を完了しました。

○ 除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・ 仮置場等総数1,372箇所のうち、10箇所で除去土壌等を保管中、1,362箇所では搬出が完了し、1,313箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○ 中間貯蔵施設の整備の現状

- ・ 除去土壌の分別処理を行い、6月末時点で、約1,201万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・ 廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、6月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器37,025個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○ 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・ 2026年6月末時点で、約1,443万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○ 中間貯蔵施設用地の状況

- ・ 用地取得については、6月末時点で契約者数1,990人、面積約1,321haについて契約しております。

○ 国直轄による特定廃棄物の処理進捗状況

- ・ 特定帰還居住区域の解体申請を受付中（5市町）です。
- ・ 被災家屋等について、5月末時点で、約19,600件の解体申請を受付済であり、約18,800件を解体済です。
- ・ 対策地域内廃棄物等の処理について、5月末時点で約33万トンが埋立処分済、約61万トンが焼却処理済です。
- ・ 福島県内の指定廃棄物については、3月末時点で約50万トンを特定廃棄物埋立処分施設等で処分、中間貯蔵施設で保管または仮設減容化施設で処理等しています。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の焼却処理状況

- ・5月末時点で、約161万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○クリーンセンターふたばの埋立状況

- ・6月末時点で、38,317袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・6月末時点で、296,972袋を特定廃棄物埋立処分施設へ埋め立てしました。
- ・特定廃棄物埋立処分施設への特定廃棄物の埋立ては、2023年10月31日が最終埋立日となり、無事終了しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（6月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を1回、専門家派遣を2回、車座意見交換会を2回、放射線教育の支援を27回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣7回、移動展示を5回（5日）実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を10回（10日）実施しました。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・2026年度の捕獲数は、6月末現在でイノシシ39頭、アライグマ111頭、ハクビシン19頭となっています。